

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和01年05月14日

計画の名称	安曇野市宅地耐震化推進事業（防災・安全）												
計画の期間	平成30年度～平成30年度（1年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	安曇野市												
計画の目標	糸魚川・静岡構造線断層帯については「震度6弱以上の地震が今後30年以内に31%の確率で発生する」ことが予測されているが、大規模な盛土造成が行われた宅地における地盤変動を原因とした地すべり被害が昨今の大地震において発生しており、同断層帯の影響を受ける安曇野市において、危険性の高い大規模盛土造成地を把握することは喫緊の課題となっている。 このため、安曇野市における「大地震時に変動・崩落が発生する恐れのある大規模盛土造成地」の調査・把握するとともに、調査結果に基づき大規模盛土造成地マップ等を作成し、市民に向けて情報提供することで、住民の防災意識の向上を図り、安全・安心に暮らせるまちづくりを推進する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	5	A	5	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	安曇野市における大規模盛土造成地の把握及び大規模盛土造成地マップの作成・公表 大規模盛土造成地マップ公表率	H30当初 0%	%	H30末 100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	H32	H33	H34			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	A13-001	宅地耐震	一般	安曇野市	直接	安曇野市	-	-	宅地耐震化推進事業	変動予測調査(331.78km2)	安曇野市						5	-	
													小計			5			
													合計			5			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 安曇野市建設部建築住宅課開発調整係にて実施。	事後評価の実施時期 平成31年4月中
	公表の方法 市ホームページでマップ公表。大規模盛土造成地内の住宅に居住または所有する方へDM送付。
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	マップを公表したことにより、市民の防災意識の向上が図られた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
令和2年に第2次スクリーニング（地盤調査、安定調査等）を実施する予定	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	大規模盛土造成地マップ公表率（パーセント）	
	最終 目標値	100%
	最終 実績値	100%